

ミニバレーボール大会規則

1. コート及び用具

- (1) コートは横 13.40m 縦 6.10m区画のバドミントンコートを使用し、両コート内にアタックゾーンを設ける。
- (2) ネットは 2mとし、アンテナを使用する。
- (3) ★ボールはソフトバレーボールを使用する。

2. チーム編成及び試合の進め方

《チーム編成について》

- (1) 1チーム4名以上の競技者、1人の監督で構成し、監督は選手を兼ねることができる。
(1チーム4～6名以内)
- (2) コート内の競技者は4人とし、ネットに近い2人が前衛、遠い2人が後衛と称する。
- (3) 4人以上のローテーション方式として、コート内に4人ずつ入り、他の人はコート外待機とし、サーブ時にローテーションを行う。
- (4) ★混合チームは常時2名以上の女性がコートにいることとする。
★公式練習はなし、乱打は1本とする。
★試合間は最大5分とする。
- (5) 背中にゼッケンをつける。
※ ゼッケンは出場申し込みの番号と合わせる。
- (6) ★開会式スタートまでに受付が終わらない、又は、試合開始時にメンバーがそろわない際は試合棄権となります。

《セット及びコートの交代について》

- (7) ★得点はラリーポイント制とし、予選リーグは1試合3セットマッチ【2セット15点先取】で勝ちとする。
- (8) 第3セットは、8点でコートチェンジを行う。
- (9) ★時間内に大会が終了しないと判断された場合は、決勝戦については1セットマッチか、試合時間短縮やジャンケンで勝敗を決定する場合がある。

《サーブについて》

- (10) 第1セットについては、ジャンケンでサーブかコートか選択する事とする。
2セット目は、1セット目のサーブ権を取らなかった方が行う。
3セット目は、あらためてジャンケンで勝ったチームがサーブを選択する。
- (11) サーブは1回として、エンドライン後方から行う。(ネットインは認めない)
- (12) サーブの要領は自由とするが手の平より離れたボールを打たなくてはならない。
- (13) サーブオーダー(サーブ順番)は第2セットについては、1セット目の始めのポジションからとする。

《タイムアウトについて》

(12) 1チーム1セットにつき1回30秒以内のタイムアウトが認められる。

《ボールに対するプレイについて》

(13) 相手の有効サーブ球を受けたチームは、1人が1回球に触れて3回で相手コートに返球する事が原則で、1回ないし2回で返球した場合と、いかなる場合でも、1人2回以上球に触れた場合は反則とする。

(14) 1～2回でネットにかかった味方のボールは、再びプレイできる。

(15) 同チーム2人以上の競技者がボールに同時に触れた場合は1回と数え、そのいずれかの競技者が再びボールに触れる事ができる。

(16) 支柱の想像延長線を通じたボールはアウトとする。

(17) 支柱及びアンテナに触れたボールは、アウトとする。

(18) サーブ開始の笛が鳴った後、ボールを床についてはならない。

3. 反則について

(1) 競技者が明らかに時差をおいて続けてボールに触れた場合は反則となる。但しサーブレシーブに限りドリブルでも反則としない。

(2) 競技者が明らかに体の一部(胸や腕、腹等)ボールを制止させた場合は反則となる。

(3) 試合続行中に競技者が相手コートにあるボールに触れた場合は反則とする。

(4) 競技者の動作によりネットに触れた場合は反則となる。

(5) ★後衛がアタックゾーン内で3回目の返球をする場合は、ネットより高いボールを攻撃目的として返球した場合は反則となる。(主審判断)

(6) ★男性の前衛でのアタックは床に足をついたまま行えば反則としない。

(7) ★後衛からの攻撃は男女を問わず踏み込みはアタックゾーン内及びアタックラインに触れてはならない。(着地はアタックゾーン内でも可)

(8) 頭上後方より、両手でボールを前に押し出した時はホールディングとなる。

4. 審判について

(1) 主審1名、副審1名(点数板を兼ねるのも可)、ラインズマン最低2名とする。

(2) 結果用紙は主審が本部へ持参する。

(3) 決勝トーナメントは各予選リーグの2位チームより2～4名出す。

(4) 決勝戦は準決勝の敗者チームより2～4名出す。準決勝がない場合は(3)と同じとする。

5. リンクリーグ終了後の勝率が同じ場合

(1) セット率で決定する。

(2) セット率が同じ場合は、得失点差で決定する。

(3) いずれも同じ場合は、4名によるジャンケンの勝ち抜きとする。

★印は大会特別ルールになります。